

池村の道切り

池村には集落へ入る道にシメナワを飾る風習があります。元々は上村のシメナワ日待ちと同じように、長いシメナワを道に渡していましたが、今は道路を挟んで両側に木を立て、そこに飾るようになりました。

この道切りの風習は、ほかの集落にみられる山の神と同じく、集落にじゃま邪気が入らないようにしているといわれています。



道を挟んでかけられたシメナワ



シメナワがかけてある場所



上村・池村の
道切り行事

キーワード：風習、道切り、山の神